

2020年度 社会福祉法人 めやす箱  
法人事業報告書（案）

1. 法人理念について

2020年度法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」、「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」、「職員が働きやすい環境作り」について、法人職員一体となり取り組んでいる。

2. 基本方針

2020年度法人事業計画の基本方針では、法人理念の基、職員一人一人が利用者個々の尊厳を護り、利用者・保護者の要望・希望に耳を傾け、満足度の高い支援の提供ができるよう法人全体として真摯に取り組んでいくと掲げており、年間通して利用者やその家族の要望に真摯に向き合い、職員一人一人が利用者・保護者のニーズの把握に努め、支援に反映することに努めた。

社会福社会福祉法人として適切なガバナンスと高い透明性を備え、主体性を持った法人運営に取り組み、地域の様々な課題や福祉ニーズに総合的・専門的に対応し、社会状況に応じた福祉サービスの提供に努めた。

また、利用者個々の自己決定、自己実現を尊重した支援、利用者が自立した生活が営めるよう支援、利用者主体とした地域社会と連携支援に取り組んだ。

年度当初より、新型コロナウイルスによる感染防止対策の徹底を行い、感染させない・感染しないを目標に、法人全体で取り組んできた。

具体的には、国の補助金を利用し事業所の感染防止対策を強化し、感染防止の備品の設置や衛生用品の確保、利用者・家族・職員の健康管理、感染防止マニュアルの作成及び周知徹底、感染時の対策シュミレーション等、新型コロナウイルス感染対策を積極的に講じた。

また、福利厚生として職員が感染した場合の休暇取得や休業補償等も整備し、不測の事態に備えた対応を整え、安心して働ける職場作りに取り組む事ができた。

その他にも、おかやま☆フクシ・カイゴ職場 すまいる宣言の取得に取り組み、人材育成や就業環境の改善など、働きやすい職場環境作りを行い、岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会に5つ星宣言事業所として登録する事ができている。

3. 法人理念実現に向けた取り組み

法人事業目標について、「人材育成」、「サービスの質の向上」、「サービス満足度調査運用強化」、「利用者権利擁護事業の推進」、「リスクマネジメント体制の構築」、「地域における公益的な取り組み」「人材育成・人材定着・人材確保の為の働きやすい職場環境整備への取り組み」「事業所運営の強化」の8項目に取り組んでいる。

人材育成については、職員個々の人間力・プロ意識の向上を目指し、法人理念に

掲げる「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」に取り組むプロフェッショナルな組織作りに取り組んでいる。

職員個々の能力向上を目標にした人材育成、人間力・向上心・探究心等を養う為の人材育成を積極的に行っている。

また、自己実現・自己研鑽・自己覚知にも積極的に取り組めるよう、よりよい職場環境を構築し、法人理念に掲げる職員が働きやすい環境作りに取り組んでいる。

職員個々がキャリアアップやキャリアデザインが描けるよう、フォローアップ体制を充実させ、魅力ある職場環境を構築した。

サービスの質の向上については、利用者本位・利用者主体の支援を念頭に日々の利用者支援の中で、利用者・家族の意見・要望に真摯に対応し利用者の人権や尊厳を尊重する支援に努めた。

サービス満足度調査運用強化では、利用者・保護者からの意見・要望・苦情を集約し、法人全体のサービス質の向上に努め、集約した意見・要望を検討し早期改善に積極的に取り組む事で、同一内容での要望苦情が減少している。

また、利用者及び保護者からの意見や要望について、法人事業計画初め、部門の事業運営や事業計画に反映し取り組んでいる。

利用者権利擁護については、外部講師を招き権利擁護権研修を実施している。

部門や事業所単位で、権利擁護研修を実施し、職員個々の理解を深めている。

リスクマネジメント体制の構築については、送迎中の車輛事故や支援中の事故について、防止・減少に取り組んでいる。

事故発生時には、法人車両委員会が中心となり事故原因・要因解明を行い、再発防止に努め、事故減少の啓発活動を積極的に行っている。

事故対策・事故対応について、マニュアル等の周知徹底を図り、事故要因に関するフィードバックの場を設け、再発防止に徹底的に取り組み、事故対策を標準化する事ができた。

災害等の有事対応として、法人非常災害対策計画を作成し避難訓練や避難場所の確認、非常食の確保などの環境整備を行っている。

平時から防災対策に取り組み、避難場所の選定や避難時の対応等万全の体制を整え、有事に対応できる準備を行っている。

感染症対策や、新型コロナウイルス対策にも積極的な感染対策を講じている。利用者を初め職員共々、感染リスクが高い状況にある為、引き続き感染防止や感染予防対策を行っていく必要がある。

地域における公益的な取り組みとして、地域貢献部会が中心となり①社会福祉法人としての地域との連携を通じた社会貢献として「サンタウォーク」を実施し、収益金で子どもの貧困事業を行っている団体へ寄付を行った。

また、②貧困問題に対しての社会貢献として、法人によるフードドライブを年2回

実施し、職員から寄付された食材や日用品を、倉敷市生活自立相談支援センター・西部地域生活支援センターへ寄贈し、生活困窮者への食糧支援に繋げている。

人材育成・人材定着・人材確保の為に働きやすい職場環境整備への取り組みとして、法人年間休日を105日から108日に増加している。

また、特定処遇改善手当を、パート職員・准職員・正規職員含む、全ての職員を対象に、勤続年数に応じて、夏季・冬季・期末に支給している。

10年以上の勤務者については、最大で基本給の1.4か月分の支給を行う等、勤続年数に応じて、基本給の0.35か月から1.4か月分の支給を行い、職員の所得向上にも積極的に取り組んでいる。

次年度についても、年間休日の増加、処遇改善手当・特定処遇改善手当による、所得増加に取り組み、更なる人材育成・人材定着・人材確保の為に働きやすい職場環境整備に取り組んでいく。

事業所運営の強化では、安定した事業運営が行う為、利用稼働の維持向上を目標とし、利用状況や稼働状況について、管理者が中心となり、的確な事業運営に取り組んでいる。

また、新規の利用者ニーズにも適宜対応できるよう、環境整備にも取り組み、受け入れ拒否をする事無く、質の高いサービス提供に努める事ができている。

利用者満足度の向上について、職員個々が質の高いサービス提供を意識して取り組み、利用者・保護者の満足度の向上に取り組んでいる。

昨年度に引き続き、高校生の採用にも取り組み、2020年度も高校生2名を採用している。

職場でのフォロー体制や、資格所得に向けてのサポート体制等、充実したアフターフォローも行い「働きやすい環境作り」を実践している。

2019年度に採用した、高校生2名も順調に成長しており、資格取得に向けても積極的に取り組んでいる。

2021年度についても、制度改正・制度変革を注視し、報酬単価の改正等に左右されない、安定した事業所運営に努める。

また、利用者ニーズに即した事業展開にも着手し、「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」に積極的に取り組んでいく。

#### 4. 法人担当部会活動報告

各部会活動報告書参照

#### 5. 委員会活動報告

各委員会活動報告書参照